

まちのできごと

ツール・ド・にし阿波開催！



5月25日、徳島県三好市池田町をスタート・ゴールとした自転車イベント「第5回ツール・ド・にし阿波」が開催されました。

国道32号を南下して、豊永から京柱峠へ向かうコースを、約400台の自転車が颯爽と駆け抜けていました。

朝早かったのですが、地元の方も応援に駆け付け「がんばれ」と書いたプラカードを掲げると、参加者の皆さんは手を振って声援に응えていました。

参加者の皆さんお疲れさまでした！

引き続きよろしくお願いします！



平成23年から地域おこし協力隊として活躍してきた根木智宏さん（左）と岡田裕介さん（右）。

7月からは根木さんが立川地区の集落支援員、8月からは岡田さんが岩原地区の集落支援員として、再び町内で活躍してくれることになりました。

集落支援員は、集落の維持・活性化を図ることを目的とした国の制度です。

今後のお二人の活躍に期待しています！

高知県総合防災訓練



6月1日、南海トラフ地震発生を想定した、高知県総合防災訓練が行われ、大豊町では八川と西川地区の自主防災組織が訓練を実施しました。

南海トラフ地震（震度6強）が発生し、八川・西川地区が孤立。豊永ヘリポートへ到着した救援物資を消防団が各避難所へ輸送するという訓練内容でした。

大規模な災害が発生した場合、自主防災組織がきちんと機能することが重要になってきます。このような訓練を行い、地域で防災意識を高めていくことで被害を最小限に抑えることが可能となります。

ワールドカップ出場！



6月からフランスとスペインで開催されるカヌー・リースタイルワールドカップに、東土居の松本久仁子さんが出場します。

松本さんは、2010年に吉野川が気に入りカヤックがしたくて大阪から移住。別の仕事をしながら完全に趣味としてカヤックを楽しんでいます。

「吉野川が好きで、私のように大豊町へ移住してくる人がいます。吉野川という「資源」が人を呼んでいます。町民の一人としてがんばってきます！」

松本さん、がんばってください！

アジアと日本の懸け橋に！

Welcome to OTOYO



5月29日～31日、外務省の事業で、東アジアの青少年と日本の伝統文化の体験などを通して国際交流を深める「JENESYS プログラム（21世紀東アジア青少年大交流計画）」が実施され、シンガポールやタイなど13カ国から、約40人の若者が大豊町へやって来ました。

太刀踊りや神楽、弓打ちの伝統行事体験や、嶺北高校の生徒さんと交流したりしました。また、町内10家庭で民泊をし、うどん作り体験や箸作りなど、各家庭での趣向を凝らした日本文化体験を通して交流を深めました。

